

## アナログ再構成後の展開(2)

### —JBL4350A—

#### 1. 始めに

前報(1)のアナログ再構成の経過を踏まえて JBL4350A のシステムにより結果を検証します。

#### 2. アナログシステム再構成後の試聴計画

直近のアナログシステム再構成後の試聴は主として前報(1)で整理したように FAL C90EXW のシステムで行ってきましたが、システムを替えて実施します。

今回は、JBL4350A のシステムで行いますが、最新の状態は [JBL4350A の再構成\(4\)](#) で報告しています。

横並びにシステムを替えて試聴を行う場合は、同一の音源を使用することが多いのですが、今回は、対象システムに最も適切に能力を発揮させたい音源を選択することとします。また、それに見合うと思われるアナログ再生システムを選択します。仮想アースへの接続は最適と思われる条件に設定します。

#### 3. アナログシステム再構成後の試聴結果

今回選択した音源とアナログ再生システムは次のとおりです。

Angel AA-9117・C

ヘンデル メサイア

オットー・クレンペラー指揮フィルハーモニア

LINN LP-12 再生

ドイツグラモフォン MG9551

ベートーベン 三つのピアノソナタ (選帝侯のソナタ)

ゲザ・アンダ (ピアノ)

LINN LP-12 再生

ウルトラアートレコード UA1004 (78 回転盤)

Oh lady be good 他

小川理子他

ThorensTD124 再生

ACCENTUS MUSIC KKC 1171/3 (45 回転盤)

スメタナ わが祖国

ヤクブ・フルシャ指揮バンベルク交響楽団

#### ThorensTD124 再生

LONDON KLJC-9180/9184 (RTI/キングレコード)

リヒャルト・ワーグナー：ワルキューレ全曲

ゲオルグ・ショルティ指揮ウイーンフィル

#### Garad401 再生

メサイアの LINN LP-12 による再生は、合唱の分離もよく、ソプラノとバスの歌唱も伸びやかで、トランペットも煌びやかです。また、これまでと比べて弦もよりしなやかで通奏低音も明瞭さが増しています。

選帝侯のソナタの LINN LP-12 による再生は、打鍵の力強い芯の音と響きがバランスしてスケール感を再現し、小音量でも音が痩せません。

小川理子の 78 回転盤の ThorensTD124 による再生は、ピアノは実機の実在感そのものですし、ドラムス、ベース、ギター、サクソなどの質感、ややハスキーなボーカルなど、78 回転盤の生々しさが再現されています。

我が祖国の 45 回転盤の ThorensTD124 による再生は、木管や弦の奏でるピアノシモから金管が咆哮するフォルテシモまでダイナミックレンジの大きい音源ですが、破綻することなく、ダイレクトカットの 45 回転盤の魅力を引き出してきています。

ワルキューレの Garad401 による再生は、これまでの Garad401 より解像度が向上し、楽器や歌手の位置関係が明瞭になってステージ感が向上しています。

#### 4. まとめ

LINN LP-12、ThorensTD124、Garad401 各システムに対して実施してきた対策の効果が JBL4350A のシステムにおいて確認できました。

以上